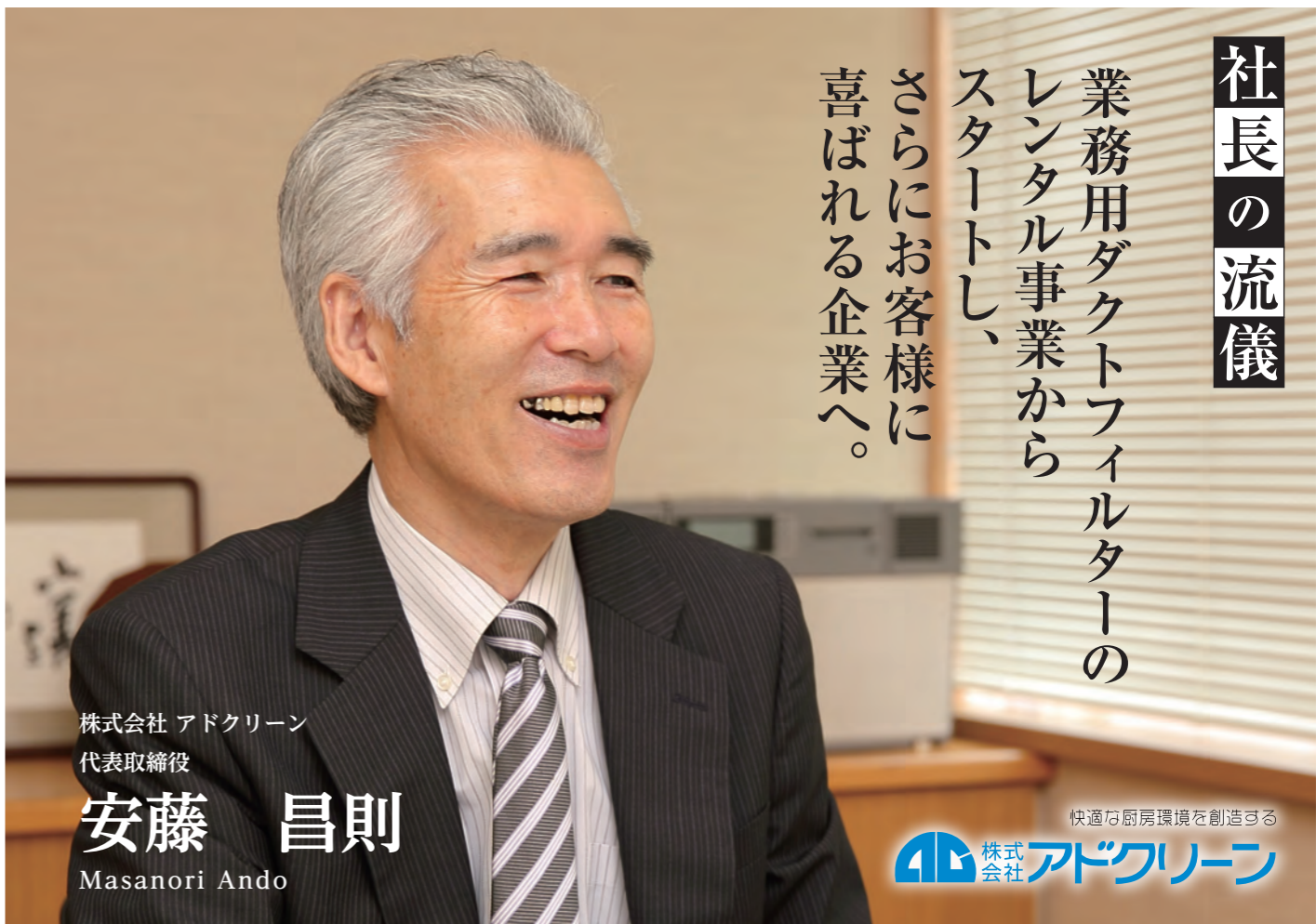


社長の流儀

業務用ダクトフィルターの
レンタル事業から
スタートし、
さらにお客様に
喜ばれる企業へ。



株式会社 アドクリーン
代表取締役
安藤 昌則
Masanori Ando

快適な厨房環境を創造する
株式会社 **アドクリーン**

**起業への夢、商材との出会い。
すべては未知数からの出発。**

「起業には、お客様ゼロからビジネスを創り上げていく喜びがあります。給料がほしいといった気持ちは二の次でした。」
株式会社アドクリーン代表取締役、安藤昌則社長の口からは頻りに「お客様」という言葉が出てくる。「お客様に喜ばれる」であったり、「お客様からの評価」「お客様に好かれる」であったり。もう一つは「新しいことへのチャレンジ」という言葉だ。
安藤社長は、地方の有名スーパーマーケットに就職するものの半年で辞め、同じく脱サラから起業を模索していた兄とともに会社を設立する。社長である兄の右腕としてレンタル業を軌道に乗せ、創業から12年後の平成元年に独立し、自ら起業する道を選んだ。冒頭の一文はその当時の心境を語ったものだ。

同社の主な業務は、飲食業の厨房換気扇フィルター「 그리스フィルター」に特化したレンタル事業。主力商品であり続けるこの 그리스フィルターとの出会いも、起業するうえで「絶妙なタイミングだった」と安藤社長は振り返る。

「東北ではまだ扱いがなく未知数なことばかりでしたが、地方でも必ず受け入れられるはずだと。そう信じて無我夢中でした。顧客開拓はすべて飛び込み営業でしたが、それは前社でも経験済み、お客様に好かれる自信はありました。」



凡事徹底の一つの取組み糸乱れぬ駐車。



그리스フィルター洗浄排水処理施設



山形県内の有名旅館でもご利用いただいております。

**「凡事徹底」の経営理念で、
社員の人生をも輝かせたい。**

一人で企業を背負うことへの孤独感やプレッシャーはあったものの、地元の有料飲食店やホテルとの契約を機に、 그리스フィルターのレンタル事業は次第に軌道に乗り始める。現在は東北でのシェアはナンバーワン。さらに差別化を図るためセラミックフィルターの開発にも取り組んだ。売上が順調に伸びていく過渡期において、安藤社長が心がけていたのは、経営理念でもある「凡事徹底」、基本的なことを徹底することだった。

「たとえば挨拶をきちんとする。そういった当たり前のことを追求していく方が、社員に理解、浸透しやすく、お客様にも喜ばれ評価されます。私は『好かれる』



社員全員が顔を揃える月1回の全体会議。

という言葉が好きなんです。商品にとっても会社にとっても、大切なのはファンづくりですから。」

社員教育もお客様との現場にこだわる。日々の出来事をレポートとして提出してもらい、客先での実際の事例をテーマにした話し合いに重点を置く。「当たり前のこと」への気付きを共有し、意識のレベルを少しでも高めてほしいと話す。

「生を受けた以上、その命をいかに輝かせられるか。それがお客様に喜んでいただくこと、人や社会の役に立つことだと思っています。仕事を単なる生活の糧として考えるだけでなく、自己成長の場として捉えられる。アドクリーンはそんな会社だと自負しています。」



環境整備の日として月2回近隣清掃を実施。

**企業の安定と継続こそが、
地域に貢献し続ける原動力。**

自社の現在を「成熟期」に近いと分析する安藤社長。厨房の環境支援を、換気扇のフィルターレンタルから清掃代行へ広げることでもまだ伸びしろはあると判断するものの、新規事業にも意欲を見せる。

「新しいことへのチャレンジが好きなんです。しょうね。極端に言うとなんでもいいから、もっとお客様に喜んでほしい。これまでのありがたいの声に感えて、さらに役に立てる、貢献できる仕事はなんだろう。」

社会や地域の役に立つには会社そのものが永続しなければならない。そのためには、いかに次の世代に手渡していくかを考える必要があると言ふ。

「新しい事業に挑戦する場合にも、夢に終わらせずビジネスとして成立させなければいけません。そのため社員育成、後

継者育成にもある程度の時間がかかります。会社を支えるのは、最終的に人です。弊社がWebサイトの最初に、経営理念である『環境づくりは人づくり』と掲げているのもそういった想いがあるからです。」
自宅四畳半からの起業、山形では馴染みのなかった新商品ということもあり、営業先ではなかなか受け入れてもらえず辛い体験も少なくなかった。借入金の返済と一家四人の生活も掛かっており、簡単に挫折できる環境ではなかったと安藤社長。そのことで一心不乱に仕事に没頭した結果として、今日の「 그리스フィルター」山形県 No.1シェアのアドクリーンがある。

『やれば出来るやらねば出来ぬ何事も』の精神で切り開く会社の未来。安定・継続と冒険・挑戦の両輪が、同社を確実に一歩ずつ前進させていく。最後に安藤社長はこう話を締めくくった。

「今の社員の子息も働きたいと思ってもらえるような会社になりたいんです。」



●株式会社 アドクリーン
設立 1989年(平成元年)4月26日
本社 〒991-0032
山形県寒河江市南町三丁目3-41
TEL:0237-86-9363 FAX:0237-86-9809
URL <http://www.add-clean.com>
事業内容/ 厨房内の作業環境浄化・改善サービス

●安藤昌則 プロフィール
昭和29年、山形県寒河江市生まれ。
兄とともに創業した前社を退職し、平成元年に、厨房排気環境支援を業務とする株式会社アドクリーンを起業。同時に代表取締役就任。
座右の銘は「現状維持は衰退」。
趣味は旅行、現在は妻と愛犬2匹とともに暮らす。

CORPORATE & PERSONAL PROFILE

取材・文/長岡 信也(有限会社 マン・クリエイト)
撮影/菊池 元樹(株式会社 アイ・エム・シー)